

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立開平小学校 学校協議会

1 総括についての評価

「共に学び、共に育ち、共に生きる」インクルーシブ教育の推進のための取り組みがしっかり進めてられており、お互いのことを知り、寄り添える児童が増えていることが、大変喜ばしいことである。開平の伝統であるたてわり班活動がしっかり継承され、「なかよし班活動などで仲良くみんなと協力した」の肯定的回答が非常に高いことからよく分かる。

専科体制が整えられていたことにより、指導の充実が図られ、内容が充実した授業が行えていること、担任の授業準備等の時間を確保したり、複数で児童の指導にあたりたりすることができていることが、経年調査の結果にもつながっており、継続していただきたい。今後も児童の学びの充実に向け、伝統を大切にしながら時代に合った教育環境を整え、教育活動を進めていただきたい。

全学年で実施したスポーツフェスティバルは、広い場所での運動の機会であるとともに児童の交流の場にもなり教育的効果があるので、継続して行っていただきたい。

収容対策が喫緊の課題であるが、開平教育の在り方を大切にしながら今後も取り組んでいただきたい。

2 年度目標ごとの評価

【安心・安全な教育の推進】

全市共通目標

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を90%以上とする。
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を85%以上とする。
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

学校の年度目標

- 令和7年度策定した「開平教育の基本方向」に則り教育活動を推進する。

・ 概ね内部評価は妥当である。

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

- 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も0.01ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を65%以上にする。
- 小学校学力経年調査における、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

学校の年度目標

- 令和7年度策定した「開平教育の基本方針」に則り教育活動を推進する。

・ 概ね内部評価は妥当である。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標

- 授業日において、児童生徒の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を60%以上にする。

学校の年度目標

- 令和7年度策定した「開平教育の基本方針」に則り教育活動を推進する。

・ 概ね内部評価は妥当である。

3 今後の学校運営についての意見

児童急増に伴う収容対策は喫緊の課題である。教育環境が悪化しないように、創意工夫し、充実した教育活動を進められるよう、関係諸機関と連携して対策に努めてほしい。